

第33回

FF 日本大会 in 東京

東京クラブ主催

2024年10月19日(土)全体会議・グループ討議・懇親会
会場:TKR ガーデンシティ PRMIUM 品川 HEART 8階
20日(日)オプションツアー

30度と10月にしては真夏日となったこの日に、全国21クラブの170名(内、主催の東京クラブ会員は50名:参加者名簿調べによる)の会員が顔をそろえ、また遠く台湾高雄クラブからも4名が参加されていました。2年ぶりとなる日本大会で、あちこちで「お久しぶり!」の挨拶が交わされていました。参加者にはお土産として携帯スタンドにもなるボールペンと会員手作りのフクロウのブローチをいただきました。

19日のプログラム

<全体会議>

開会あいさつ・東京クラブ会長 堤 由紀恵
ビデオメッセージ・CEO 兼 FFI 会長 Mr. Jeremi Snook
名誉顧問 愛知和男氏を偲んで・FFJ メンター 石井嗣代
参加クラブ紹介・西日本から順に 各クラブ会長
理事会報告・FFI ボード 小泉桂子
myFF について・FFI スタッフ 金元勅子
FR からの報告・FRC 大西弘





<グループ討議>

討議①「現会員の温存と新会員のリクルートについて」

席替え

討議②「次世代(子供・孫)に伝えたい、FF 活動で良かった体験」

<懇親会>

イベント・女木遣り「吉原女木遣り保存会」

木遣りは江戸時代に火消しやとび職の人が掛け声として歌っていたものです。やがて祭礼の歌にもなり、祝賀の意を持つようになりました。江戸時代の吉原にも女性だけの「吉原女木遣り」が存在し、現在、東京都台東区を中心に活動し、江戸芸能継承団体として 2023 年に認定されました。

乾杯・会食・FF の歌合唱・閉会

* 2 年後の次回は長崎クラブが主催することになりました。





台湾高雄クラブの皆さん



お揃いのクラブシャツを着て（写真提供 丸山由喜雄さん）



フレンドシップ フォース 日本大会に参加して

大熊 幸雄

地元埼玉、郡山、静岡に続いて4回目の参加。会場に着くと気候変動バーチャル会議で一緒した大分の志賀喜久美さん、メルボルンのバルさん宅に同じく泊まった水野幸子、正夫ご夫妻、東京クラブの作田多香子さん、川島町在住の島田信子さんと対面で会えて、嬉しく思いました。チアダンスでお馴染みの杉山信子さん、東京クラブでソロツルーンのADを務めた宮内サチさんは、残念ながら欠席でした。以前と異なり、代表者会議が無く全体会議で始まったことは、参加意識が高まり良かったと感じました。分科会①では新会員のリクルートが議題でした。意見を求められ「ターゲットを戦略的に絞るべき、ツールとしてはホームページが有効である。残念ながらコンテンツの更新が進まないクラブが見られる。IT人材の確保が重要。埼玉クラブのホームページを見本にして欲しい。」と発言しました。分科会②では、次世代に伝えたいFF活動が議題でした。ここでは、クラブが記録した写真、ビデオ等活動内容を次世代に分かりやすく伝える工夫が必要であるとして、FFIのAnnual Reportを示して説明しました。懇談会では、美味しい料理を食べながら楽しく意見交換、交流を図ることが出来ました。いくつかの改善すべき点はありましたが、全体的に良くオーガナイズされた素敵な日本大会でした。関係者の皆さまに、こころより感謝申し上げます。

日本大会に参加して

新井ミキエ

2024年 Friendship Force 日本大会が品川 TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 HEART で東京クラブ主催のもと 11月19日に開催されました。各クラブの懐かしい顔やお世話になった役員の皆様が一堂に会し活動報告・計画等今後のFFについての意見交換が活発に行われ、その後、部屋を替えて親睦会が有り、会員の親睦を深めました。珍しい【吉原女木遣り保存会】の木遣りも拝見出来ました。おもてなしの心を深く感じました。

今年5月3日86歳で亡くなられた日本のFF創立者の愛知和男様のお顔がスクリーンに映って彼の功績を称えました。私はハンブルグの世界大会のツアーで一緒に回り、色々楽しい旅のお話を伺いました。帰国してからも少しの間交流させて頂きました。何方かも何も存じ上げずに旅行の話に花が咲き、気取らず穏やかなお人柄に触れた懐かしい思い出が蘇ります。

次回日本大会は長崎クラブで再開しましょうと笑顔で散開となりました。2016年に埼玉ク

ラブで主催したブリランテホテルでの日本大会を思い出しました。

皆で力を合わせて1つのイベントを開く楽しさと大変さを続けて行くことは会員相互の絆も深まり、クラブの力も強くなるのだなと思いました。

埼玉クラブはそんなクラブになりましたね。

オプションツアー

築地かいわい

田中 加代

築地界隈は江戸時代の遺跡が思いのほか多く、大名の上屋敷や、ヨーロッパなどから日本にやってきた方々から伝えられた当時最新の医療技術やら、今につながる歴史的な遺物に目を見張るものがありました。最初の集合場所であった本願寺では、去年、山本久美子さんが公式には最後のオルガン演奏をなさったところを見学できました。去年は拝聴できませんでしたが、ヨーロッパの教会だと、正面の高いところにパイプオルガンなどがどんと控えているのですが、本願寺では控えめに一番下座(?)になる入り口付近にあり、オルガニストが聖歌風の曲を弾いていました。本願寺の建物はインド風、中は仏教風、音源は欧風(?)。初めて訪れた本願寺はなんと国際的な場所でした。

終始中央区のボランティアガイドの方が丁寧に説明をしてくれ、わかりやすかったです。限られた区域を2周ぐらい回ったでしょうか。ランチはガイドさんお勧めのリーズナブルな和定食のお店。座席もゆったりしていて壁や床は水槽の映写が施され、まるで水槽の中にいるみたいでした。また機会があれば行ってみたいです。

日本橋ツアーに参加して

川田恵美子

FF 日本大会の翌日、東京クラブさんが計画して下さったオプションツアーの日本橋コースに参加。日本橋魚市場発祥の地、乙女の広場前からボランティアガイドさんのご案内で、江戸時代には5街道起点であったという日本橋～三越前の連絡通路に展示されている「熙代照覧絵巻図」～金座跡にある日本銀行本店～江戸城に続く常盤橋跡～一石橋【川の両岸に住まう後藤氏(5斗+5斗=1石) から名づけられたのだとか】等を歩きました。

とりわけ興味を引き付けられたのが、神田今川橋から日本橋までの様子を描いた「熙代勝覧絵巻」でした。200年前の江戸の風景、家並み、行きかう人々、動物等の緻密な描写には興味津々。人々の日常を透かし見ているようで、釘付けになりました。1806年の江戸の大火でこの界隈は消失してしまったそうで、大火前の貴重な絵のようです。本物はベルリン国立アジア美術館が所蔵していて、日本に里帰りをした折に複製画を製作したのだとか。

熙代勝覧 とは、かがやける御代の勝れたる景観、を意味するそうです。200年前の江戸の人々が、高層ビルの林立する現代の日本橋界隈を見たら何を思うのでしょうか？



熙代勝覧絵巻(きだいしょうらんえまき)

ホームコンサートに参加して 山本久美子



日本大会二日目、西東京クラブのメンバー宅で開かれたホームコンサートに行ってきました。リビングには立派なグランドピアノ、スタインウェイです!! 輝く音が素晴らしい。プログラム1番はウクレレ合奏。ズラリと並んだ西東京のメンバーに団結力を感じました。月に1回集まって練習するのが楽しいそうです。続く演奏者は少年時代に習ったピアノを60歳で再開した男性、タブレットを前に置いて即興演奏。コード譜だけなので二度と同じには弾けないとおっしゃいますが、素敵なアレンジ。その才能にびっくりしました。次の70代の女性はピアノで日本の四季のメドレー、懐かしい童謡を4曲。一緒に歌う私達の心がひとつになっていい気持ち! これに見る日本の学校教育の成果。この家のご夫婦は仲良くアンサンブル。グノー作曲「アベマリア」。奥様のやさしいクラリネットに癒されます。しばし聴き惚れていると…おや? 完璧主義の旦那様、もう一度最初から。そして、途中から独走態勢、いい声で弾き歌い。置いてきぼりの奥様も大笑い。そのまま突っ込むエンディングがきらきら、これぞスタインウェイ。一同拍手喝采。みんな笑顔。何と温かいコンサートでしょうか。

おいしい食べ物を囲んでの懇親会も楽しくて時間を忘れてしまいました。



写真提供 郡山さん